

令和5年度 小学校教員向け環境教育研修会 実施報告
「やってみよう！環境学習プログラム」
第2回「まちをきれいにしよう！」（テーマ：ごみ）

□実施日時 令和5年8月2日（水）9時30分～12時00分
□実施場所 台東区 都立上野恩賜公園
□実施方法 対面

□実施内容

1. 事務連絡・開講挨拶等

- ・事務局から受講上の注意、全体スケジュール等の説明
- ・環境局総務部環境政策課から開講挨拶等

2. 講師からの講義・体験

講師：NPO 法人自然環境アカデミー 野村亮 氏 谷村春樹 氏

（1）環境学習のポイント ～体験の重要性～

ごみ拾いを体験し、生態系に大きな影響を与えているごみはどこから発生しているのか、どうすれば減らせるのかを考え、子供たちに自分で考え行動することを促す方法について学ぶ。

（2）それぞれの活動

①ごみ拾い体験

都立上野恩賜公園不忍池添いを2班に分かれて体験を行った。作業前にごみの探し方や採取できないものなどの説明を受け、軍手とトング、ゴミ袋を装備して実施。猛暑日であったため水分補給に気を付けながら約1時間作業を行った。



池の周りの柵の外、人目に付きにくい場所にごみが見られる。



②ゴミの観察

拾ってきたごみを並べて分類し、どのような種類のごみが多いかを観察。なぜこの場所に捨てられていたかなどの背景やごみ拾い体験について気づいたことについて話し合い記録シートに記入した。





“ポイ捨てごみ” きろくシート

■ 調べた場所: 都立上野恩賜公園

ごみの種類	ごみの量	合計
もえる		
もえない		
びん		
カン		
ペットボトル		
その他		

チェックシート

■ 調べた場所: 都立上野恩賜公園

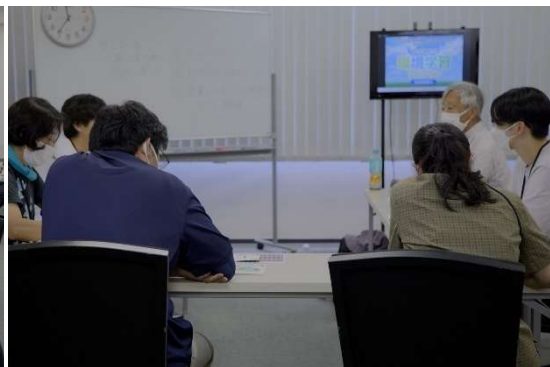
☆ごみを拾って、わかったことや考えたことを記入

ごみについて考えるヒント

- ごみはなぜふえるのか
 - ごみが増え続けるとうなるのか
 - ごみはどうすれば減るのか
 - 考えるために、どんなことをすれば良いのか

③情報交換会

この日の研修を通じて気づいたこと、感じたこと、授業での活用方法や各学校で実施した関連事例等について、グループごとに発表し受講者で情報を共有した。



(質疑応答及び受講者同士の意見発表)

- ・ 小さなごみが植え込みの中など見えない場所に落ちている。心理的なこともあるのでは。
- ・ コロナ以降、フィールドワークを行うことが難しいこともあるが、動画などを活用しながらどうしたらいいか子供たちに考えてもらう機会を作りたい。
- ・ 植え込みの中のごみやたばこの吸い殻等。大人が出すごみをみると、子供のころから環境教育はしているがなかなか意識がかわっていないということかなと思う。
- ・ 日本を訪れた外国人の意識はどうか知りたい。
- ・ 大人の出すごみについて、子供たちにどのように伝え活動につなげるか。
- ・ 実際にごみ拾いのフィールドワークを行う際のポイントについて知りたい。
- ・ ごみ拾いは、それ自体が子供の活動として楽しめる。ごみ拾いを通して何を考えさせるか、いろいろな視点がもられた。
- ・ 授業をしている実践の事例を紹介してもらえると参考にしたい。

(実施例や課題に対する講師からのアドバイス)

- ・ 安全面を確保することは重要。大型のごみや危ないごみに気を付ける。PTA や地域住民の協力があると行いやすい。
- ・ 自治体によってはごみ関連を扱う部署などでプログラムを持っている場合があるので利用してみてもいい。
- ・ 大人が捨てるごみにたいして、だれが悪いではなく「どうすればいいか。」「工夫は?」「君はどうするか」という考え方にもっていくとよいのでは。

◎事務連絡、アンケート記入等(事務局) アンケート提出後、解散

<参考>

オンライン参加者用に事前視聴用動画作成を行った。

